

大阪市登録有形文化財を事例とした 景観重要建造物の選定に関する試み

緑地環境計画工学

松岡 皓平

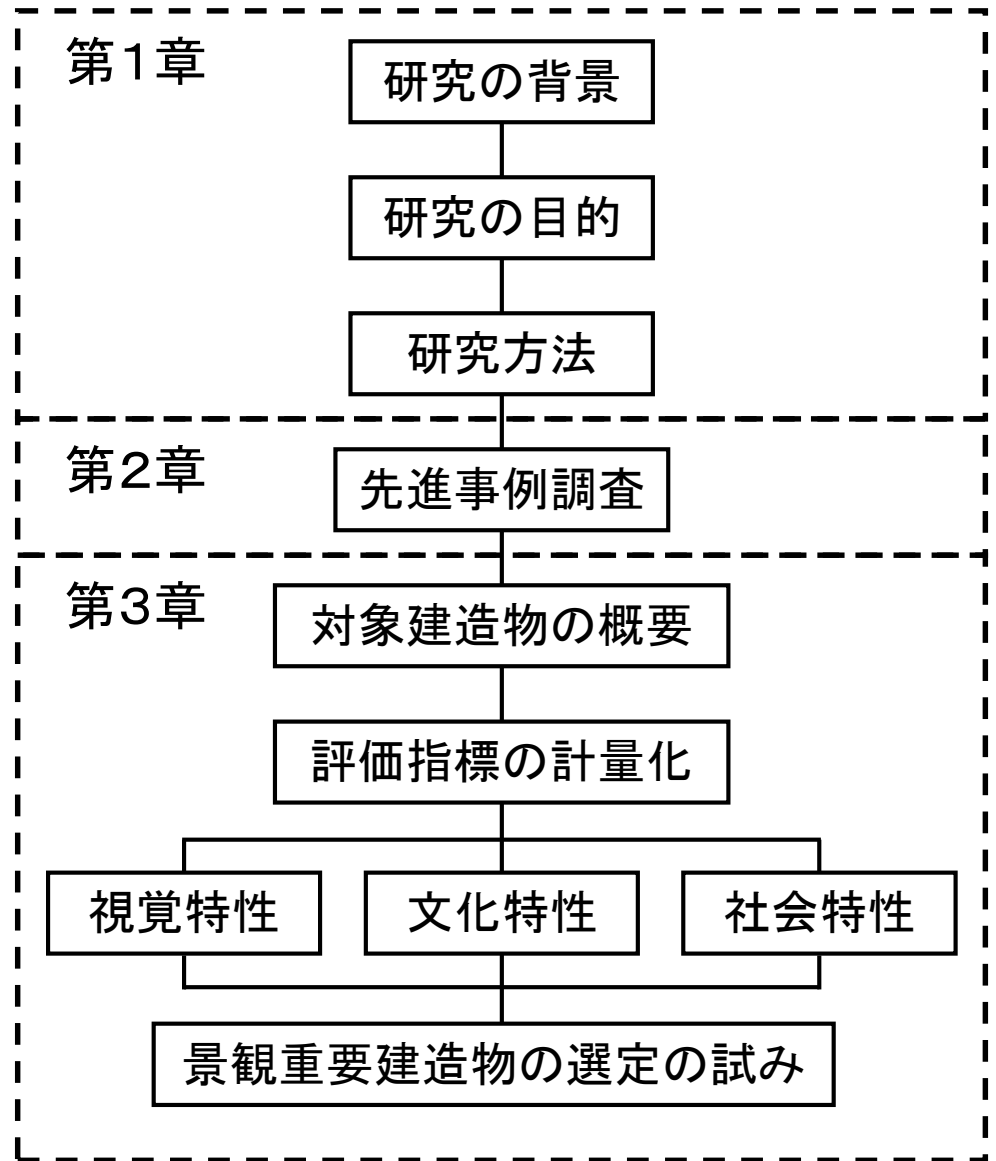
研究背景

平成17年に施行された景観法において景観重要建造物の指定が可能となったが、全国的には指定物件も少なく選定のための評価指標は定まっていないと考えている。

研究目的

法の指定要件を鑑みながら大阪市登録有形文化財を事例とし選定のための評価指標を設定し、その計量化を試みるとともに計量化した指標を用いて景観重要建造物の選定を試みた。

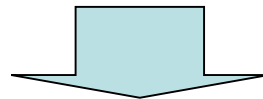
研究の構成



第2章 先進事例調査

調査方法 アンケート調査(平成19年7月)、ヒアリング調査(平成19年12月)

京都府 京都市	指定物件数 指定の対象	20件 従来の景観条例で歴史的意匠建造物の指定を受けている町屋等の建造物
岐阜県 各務原市	指定物件数 指定の対象	9件 登録有形文化財に指定されている建造物の中で所有者の同意が得られた物件
滋賀県 近江八幡市	指定物件数 指定の対象	1件 地域の歴史上重要な建造物の中で老朽化が著しく国庫補助金による修繕が必要とされた物件
神奈川県 逗子市	指定物件数 指定の対象	1件 歴史的景観保全地区に位置し、景観形成上重要な建造物



各市とも、歴史的価値のある建造物を都市政策的な観点から戦略的に指定している。しかし、景観的価値の客観的な評価指標が設定されていない。

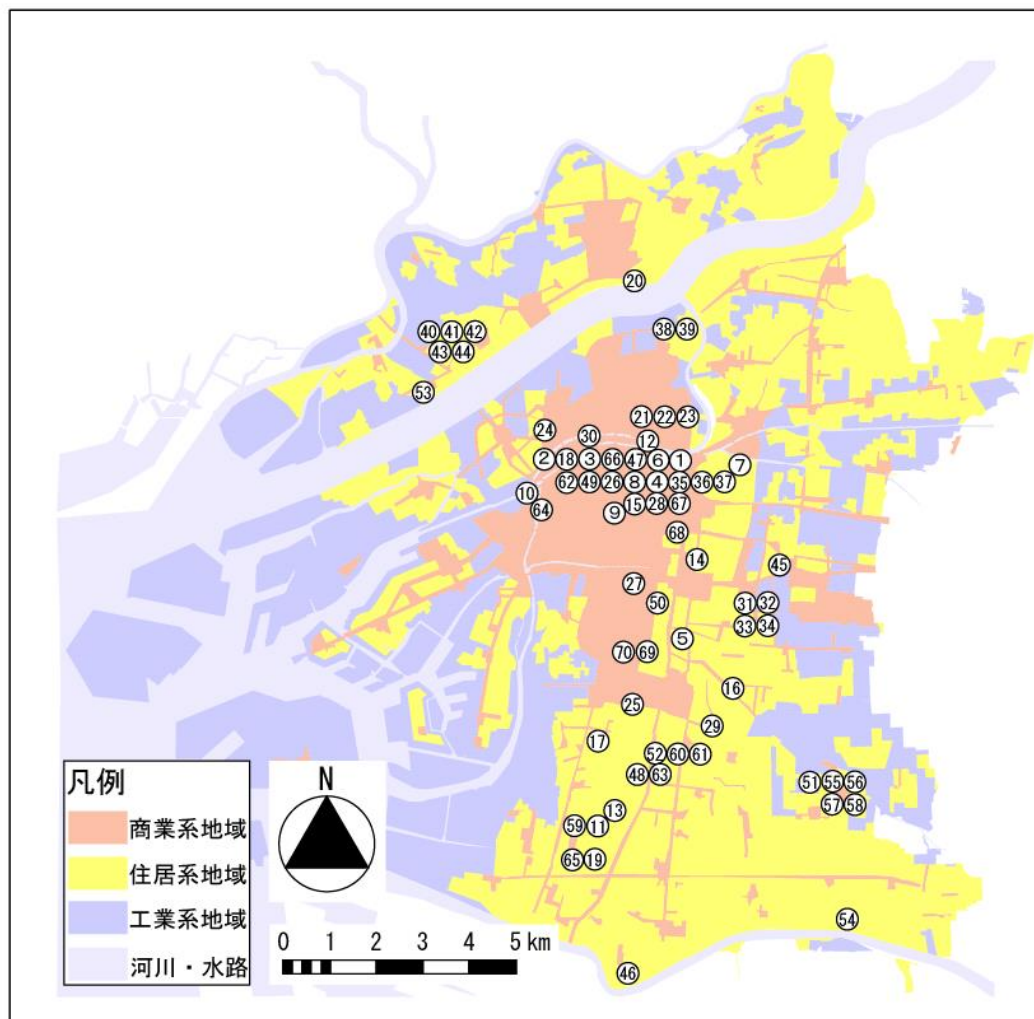
第3章 対象建造物の評価指標の計量化及び 景観重要建造物の選定の試み

・調査対象

大阪市登録有形文化財 70件

・評価指標

- 視覚特性
 - 最大可視距離
 - 最大可視箇所数
 - 目立ち度
- 文化特性
 - 美しさ
 - 緑景観との調和
 - まちなみ景観との調和
 - 造形の規範
- 社会特性
 - 公開性
 - 認知性
 - 親近性



各評価指標の調査方法について

最大可視距離

最大可視箇所数

目立ち度

美しさ

緑景観との調和

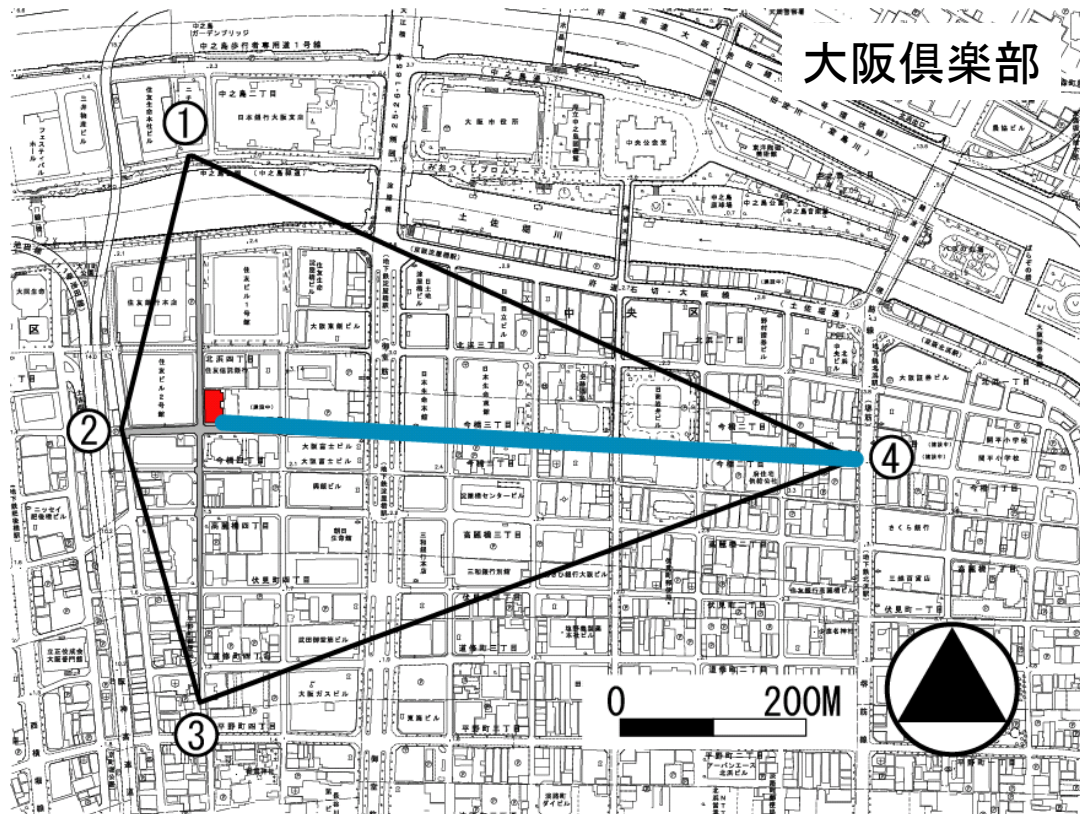
まちなみ景観との調和

造形の規範

公開性

認知性

親近性



各評価指標の調査方法について

最大可視距離

最大可視箇所数

目立ち度

美しさ

緑景観との調和

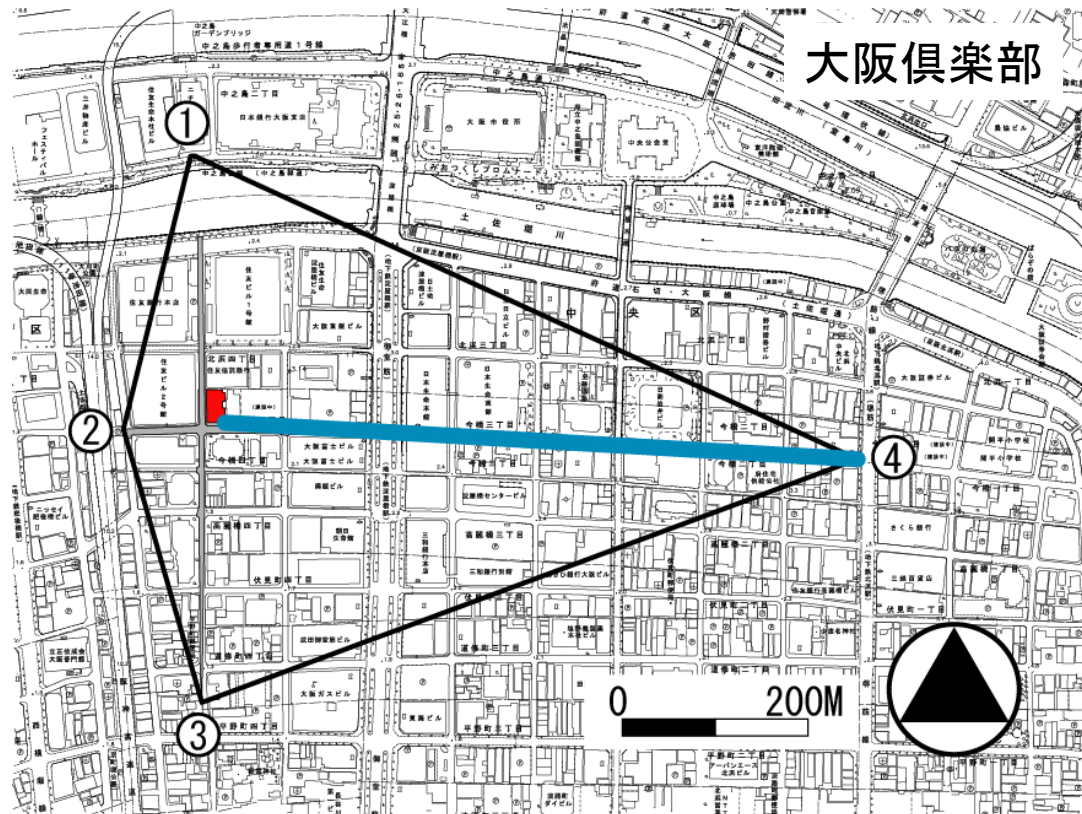
まちなみ景観との調和

造形の規範

公開性

認知性

親近性



各評価指標の調査方法について

最大可視距離

最大可視箇所数

目立ち度

美しさ

緑景観との調和

まちなみ景観との調和

造形の規範

公開性

認知性

親近性

目立ち度



各評価指標の調査方法について

最大可視距離

最大可視箇所数

目立ち度

美しさ

緑景観との調和

まちなみ景観との調和

造形の規範

公開性

認知性

親近性

美しさ



各評価指標の調査方法について

最大可視距離

最大可視箇所数

目立ち度

美しさ

緑景観との調和

まちなみ景観との調和

造形の規範

公開性

認知性

親近性

緑景観との調和



各評価指標の調査方法について

最大可視距離

最大可視箇所数

目立ち度

美しさ

緑景観との調和

まちなみ景観との調和

造形の規範

公開性

認知性

親近性

まちなみ景観との調和



各評価指標の調査方法について

最大可視距離

最大可視箇所数

目立ち度

美しさ

緑景観との調和

まちなみ景観との調和

造形の規範

公開性

認知性

親近性

造形の規範

- ・国土の歴史的景観への寄与
- ・造形の規範が認められる
- ・地域性の表れ
- ・時代性の表れ

各評価指標の調査方法について

最大可視距離

最大可視箇所数

目立ち度

美しさ

緑景観との調和

まちなみ景観との調和

造形の規範

公開性

認知性

親近性

公開性

建造物への進入のしやすさ

各評価指標の調査方法について

最大可視距離

最大可視箇所数

目立ち度

美しさ

緑景観との調和

まちなみ景観との調和

造形の規範

公開性

認知性

親近性

認知性

インターネット調査により
グーグルでの検索ヒット数
(平成19年11月24日)

各評価指標の調査方法について

最大可視距離

最大可視箇所数

目立ち度

美しさ

緑景観との調和

まちなみ景観との調和

造形の規範

公開性

認知性

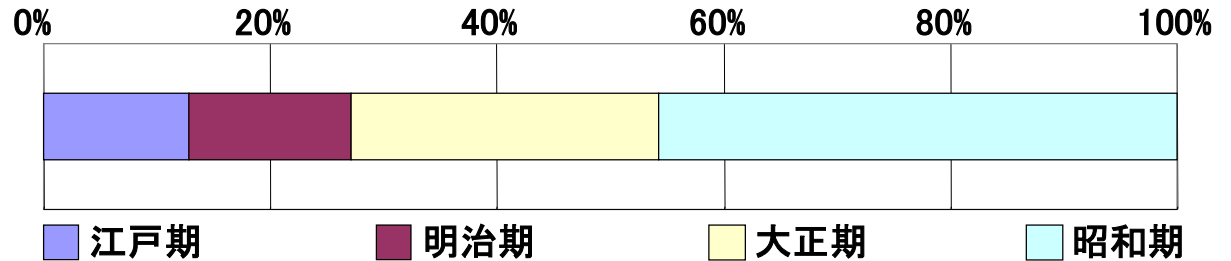
親近性

親近性

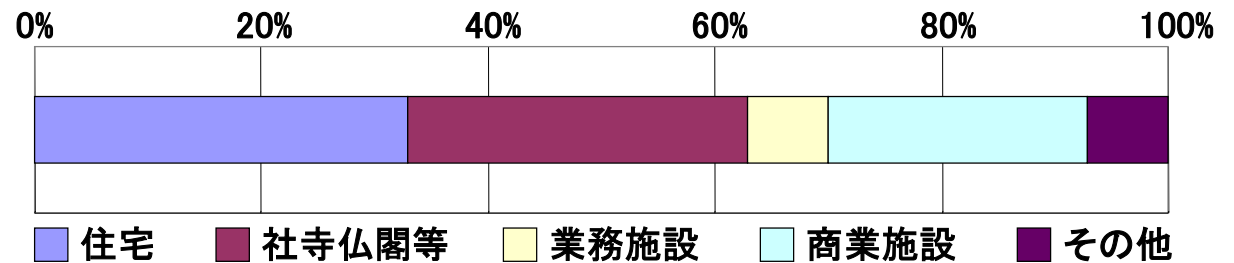
対象建造物の評価・説明のあるサイトの数
(平成19年11月24日)

対象建造物の概要

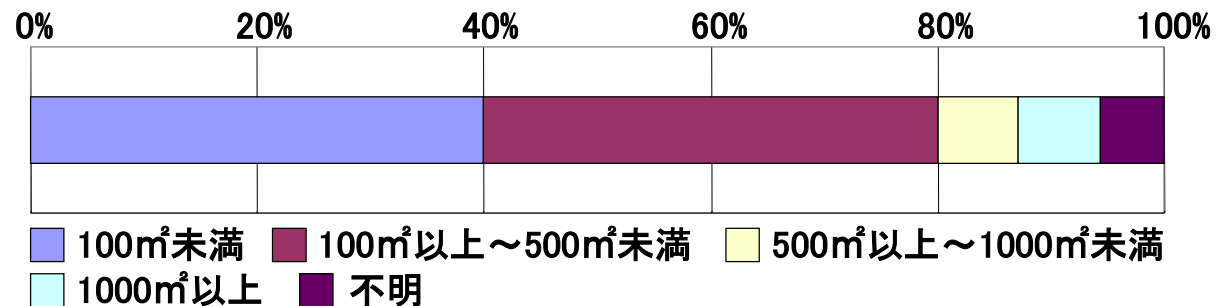
- 建築年



- 用途

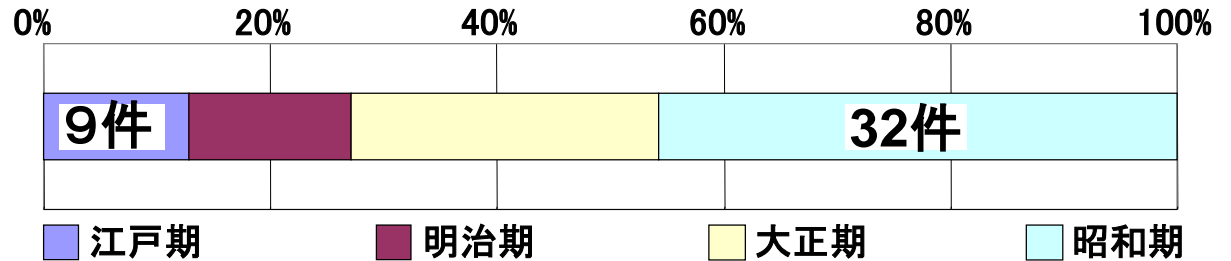


- 建築面積

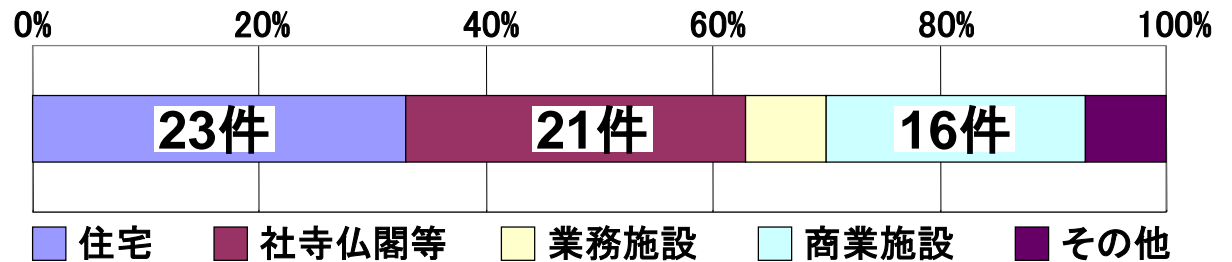


対象建造物の概要

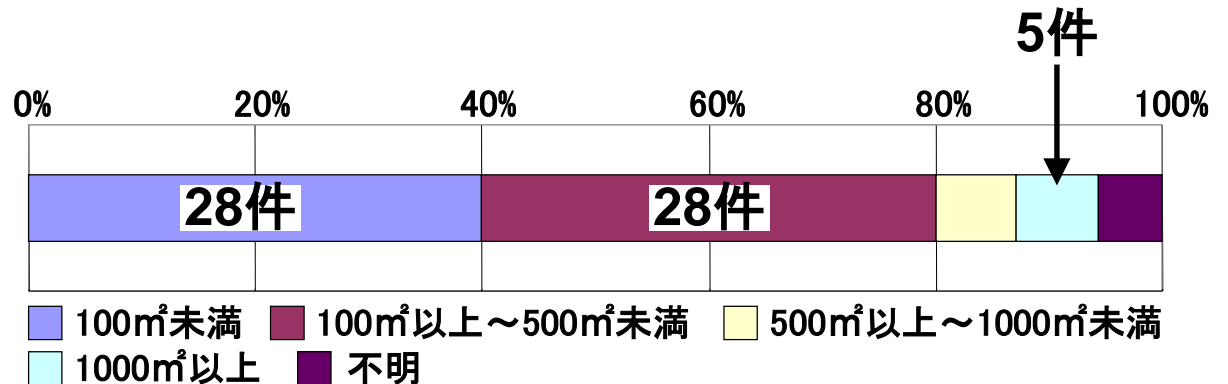
- 建築年



- 用途

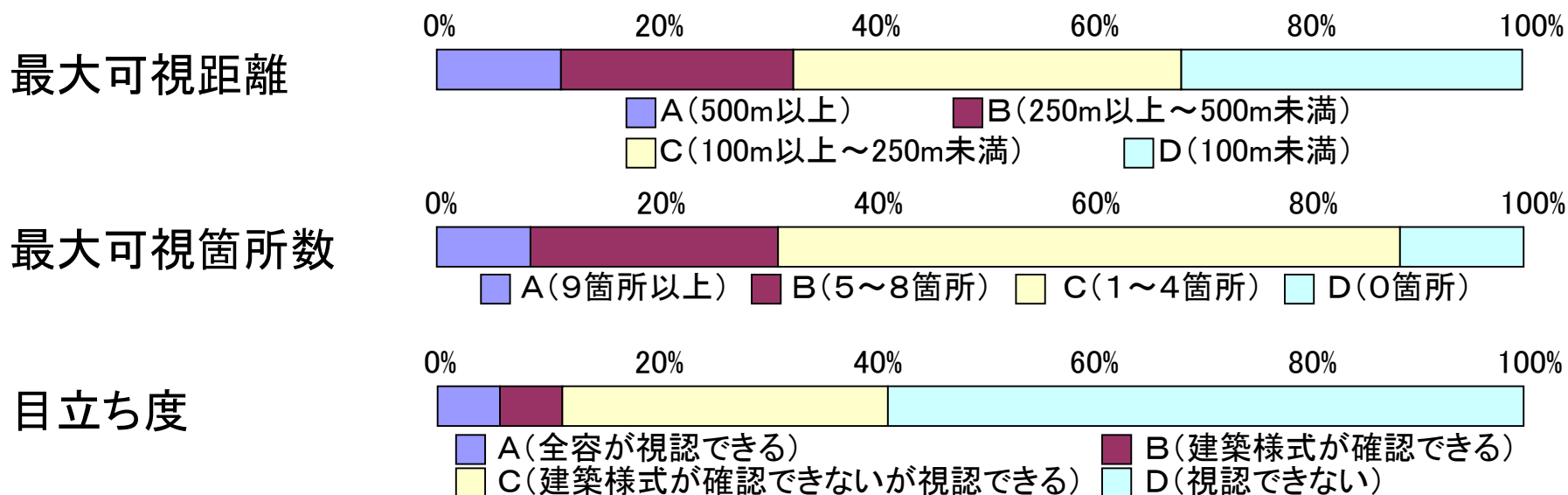


- 建築面積

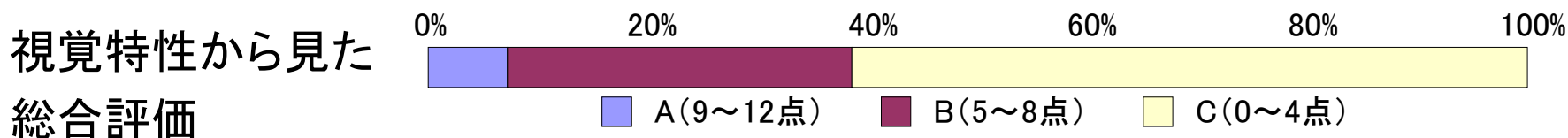


視覚特性

「道路その他の公共の場所から公衆によって望見できること」(景観法施行規則)

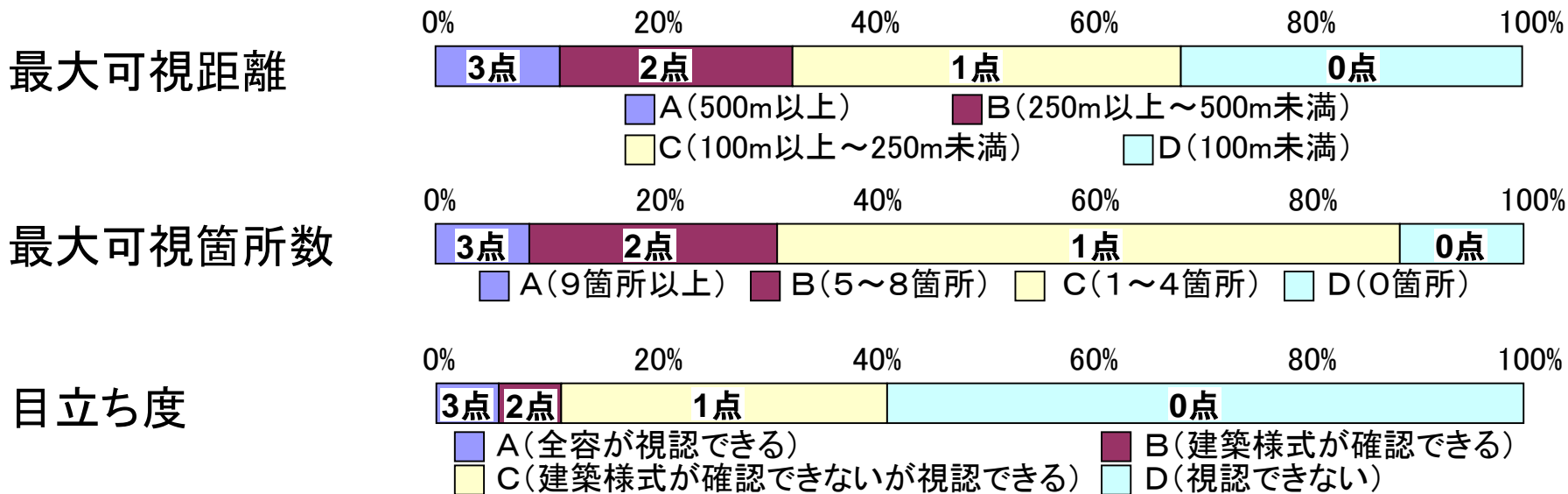


最大可視距離 + 最大可視箇所数 + (目立ち度 × 2) = 視覚特性から見た総合評価

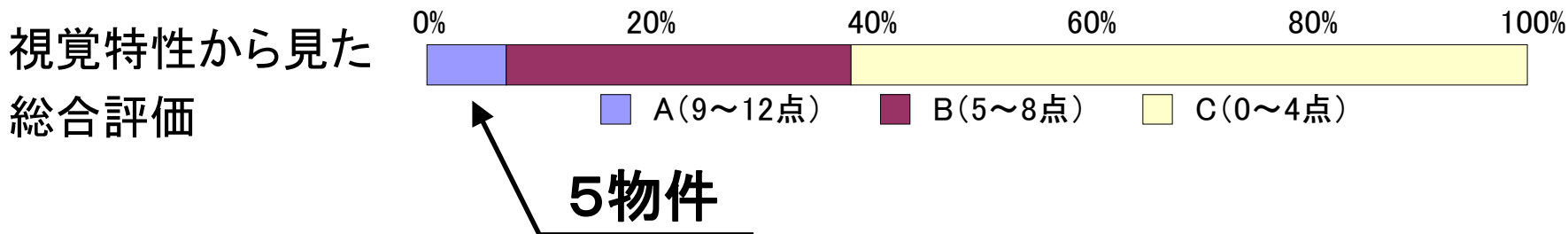


視覚特性

「道路その他の公共の場所から公衆によって望見できること」(景観法施行規則)

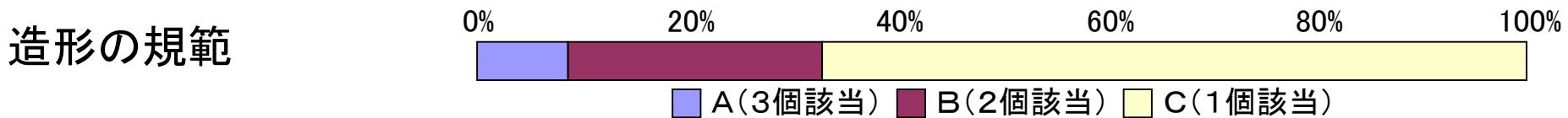
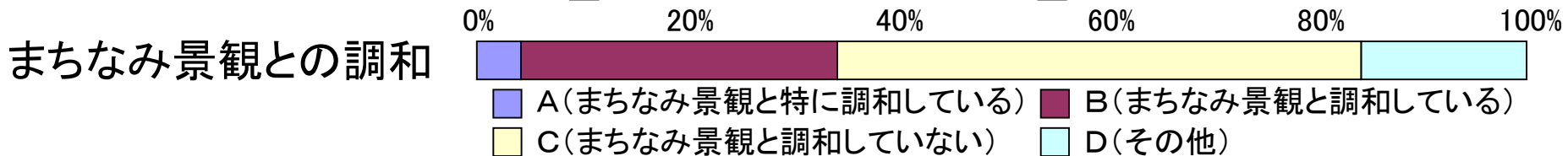
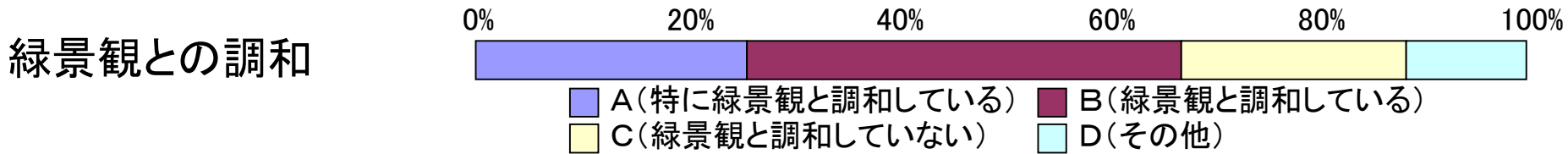
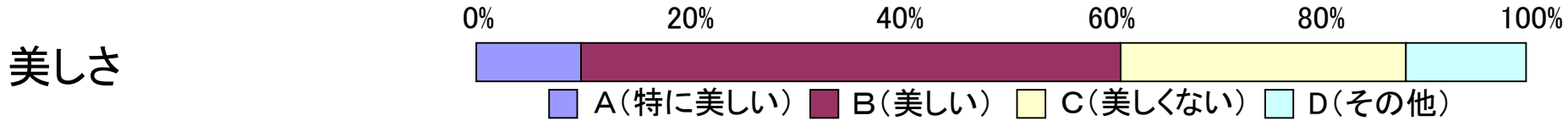


最大可視距離 + 最大可視箇所数 + (目立ち度 × 2) = 視覚特性から見た総合評価

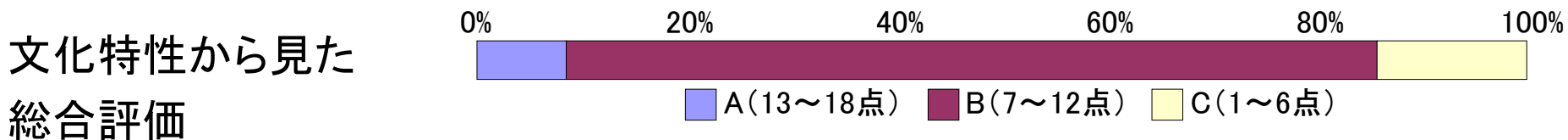


文化特性

「地域の自然、歴史、文化等からみて、建造物の外観が景観上の特徴を有し、景観計画区域内の良好な景観の形成に重要なものであること」(景観法施行規則)



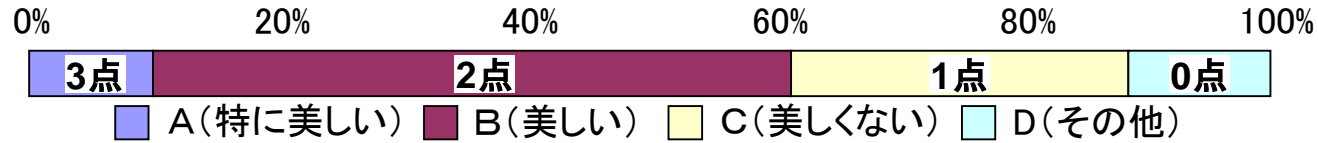
(美しさ × 2) + 緑景観との調和 + (まちなみ景観との調和 × 2) + 造形の規範
= 文化特性から見た総合評価



文化特性

「地域の自然、歴史、文化等からみて、建造物の外観が景観上の特徴を有し、景観計画区域内の良好な景観の形成に重要なものであること」(景観法施行規則)

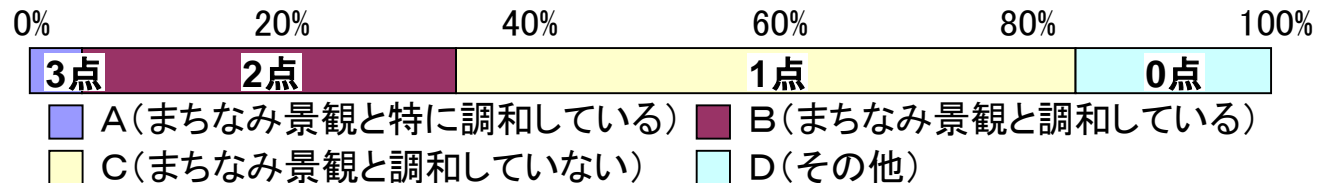
美しさ



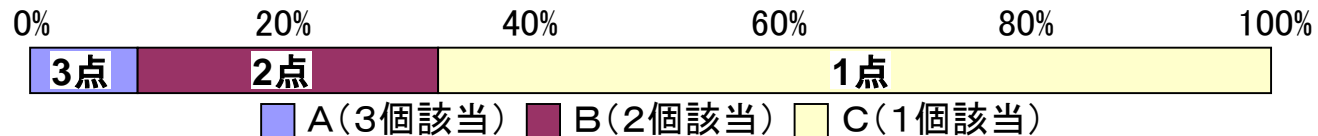
緑景観との調和



まちなみ景観との調和

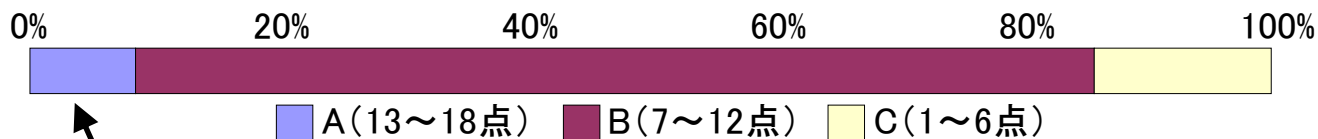


造形の規範



(美しさ × 2) + 緑景観との調和 + (まちなみ景観との調和 × 2) + 造形の規範
= 文化特性から見た総合評価

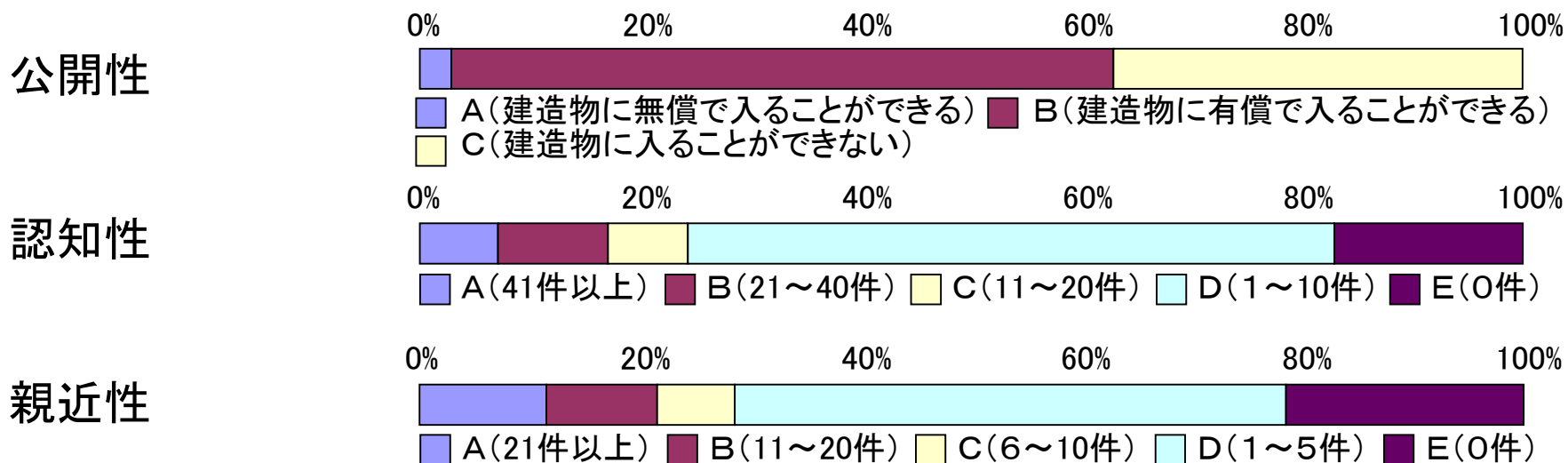
文化特性から見た
総合評価



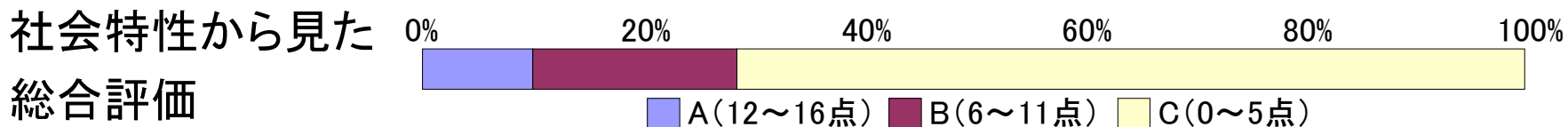
6物件

社会特性

「地域の景観上重要と認められるものであること」(大阪市景観計画)

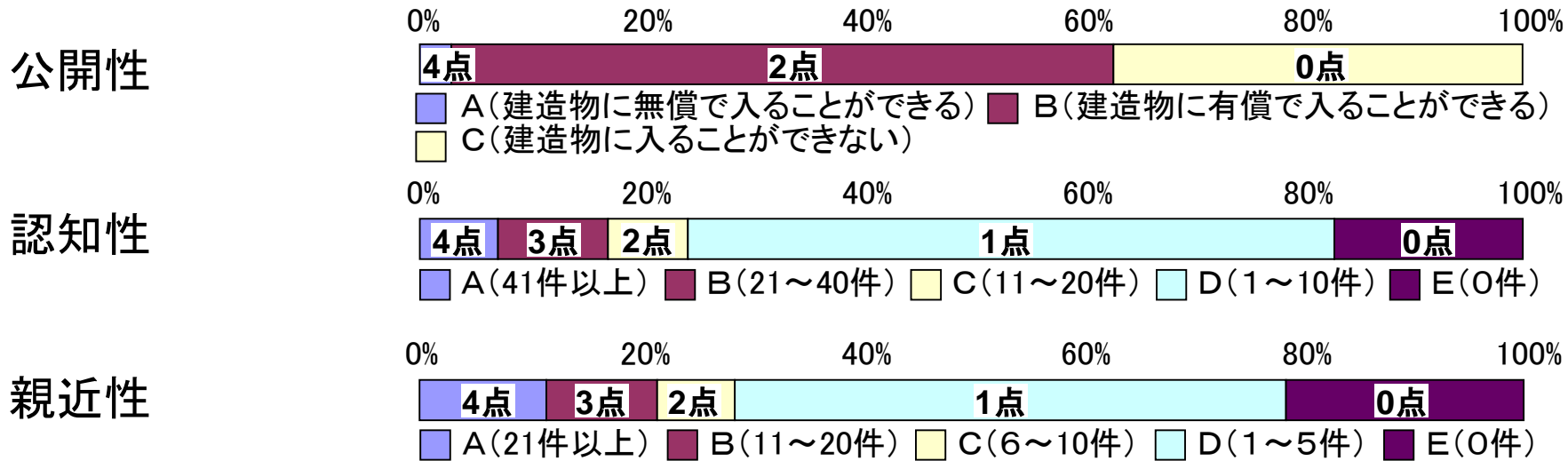


公開性 + 認知性 + (親近性 × 2) = 社会特性から見た総合評価

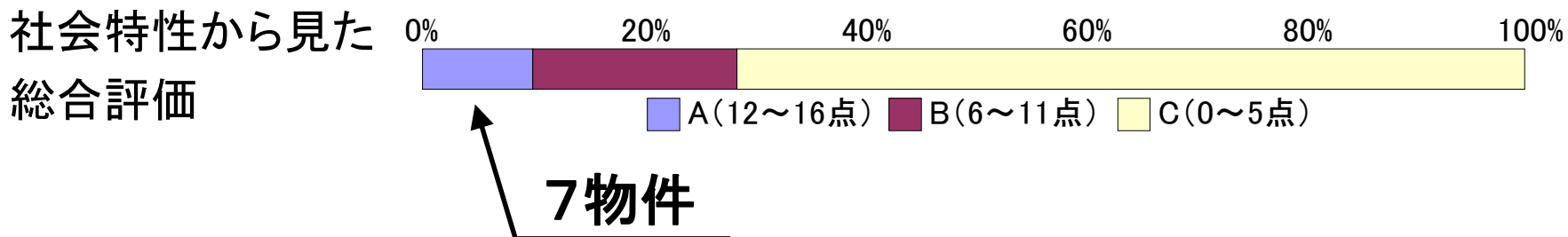


社会特性

「地域の景観上重要と認められるものであること」(大阪市景観計画)



公開性 + 認知性 + (親近性 × 2) = 社会特性から見た総合評価



ケース1

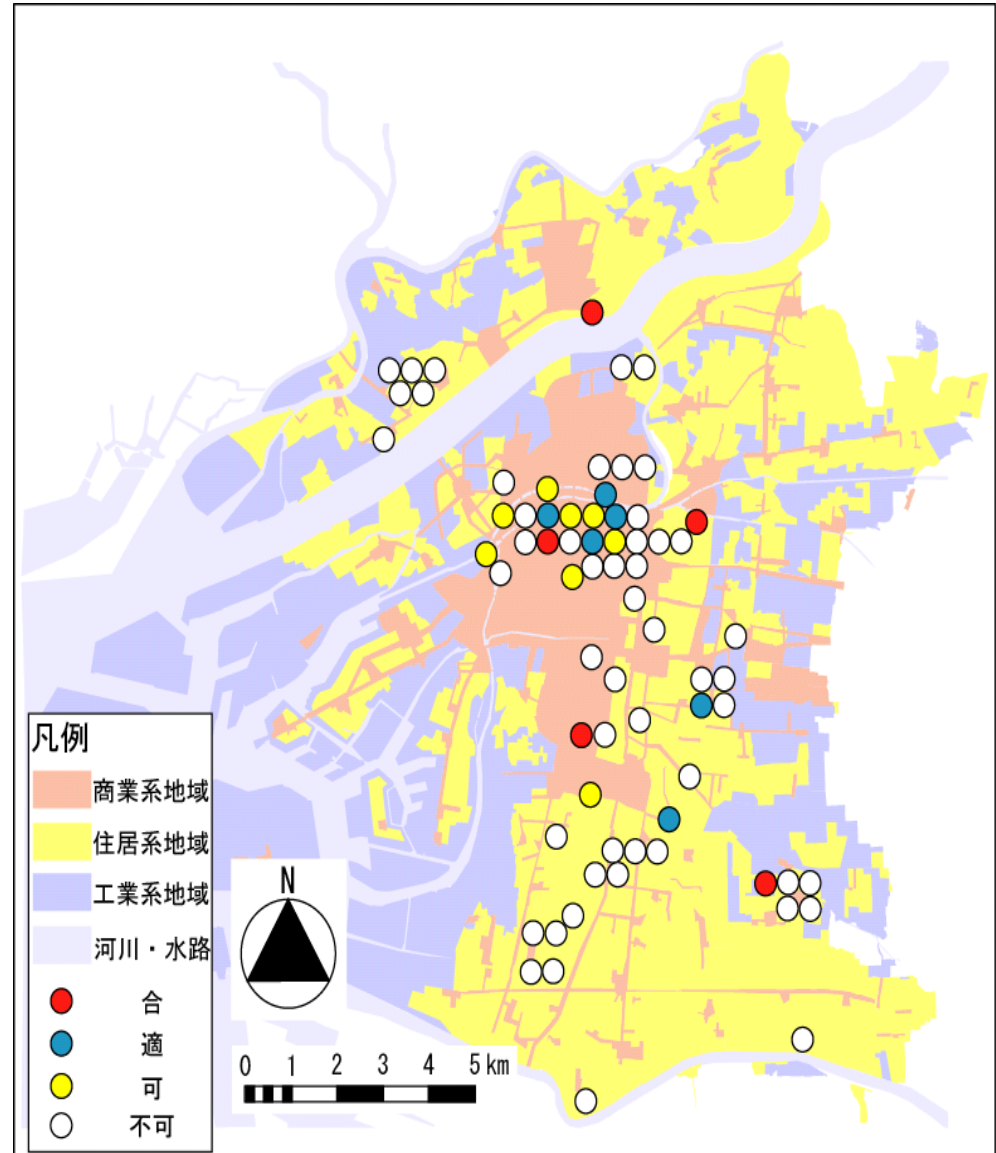
「視覚・文化・社会特性の3特性を同じ重みとし評価」

3特性のうち2特性以上で最高評価(A)を得た物件 → 合 5物件

3特性のうち1特性だけが最高評価(A)を得た物件 → 適 6物件

3特性全てにおいて中庸の評価(B)を得た物件 → 可 8物件

その他の物件 → 不可 51物件



ケース2

「3特性のうち文化特性に重みを持たせて評価」

文化特性が最高評価(A)で、かつ視覚・社会特性が最高評価(A)もしくは中庸の評価(B)を得た物件



合

3物件

文化特性が中庸の評価(B)で、かつ視覚・社会特性が最高評価(A)もしくは中庸の評価(B)を得た物件



適

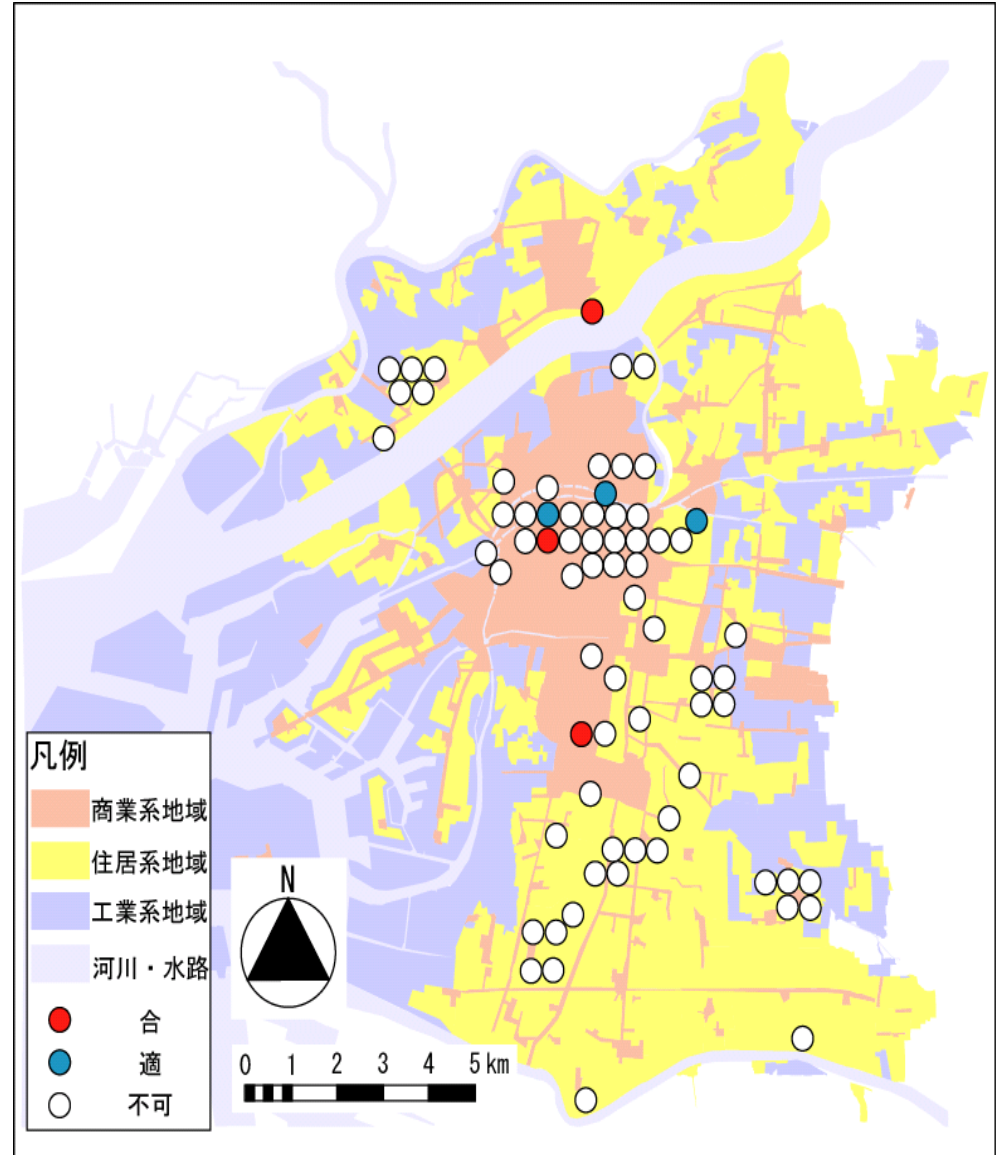
3物件

その他の物件



不可

64物件



ケース3

「3特性のうち視覚特性に重みを持たせて評価」

視覚特性が最高評価(A)で、かつ文化・社会特性が最高評価(A)もしくは中庸の評価(B)を得た物件



合

4物件

視覚特性が中庸の評価(B)で、かつ文化・社会特性が最高評価(A)もしくは中庸の評価(B)を得た物件



適

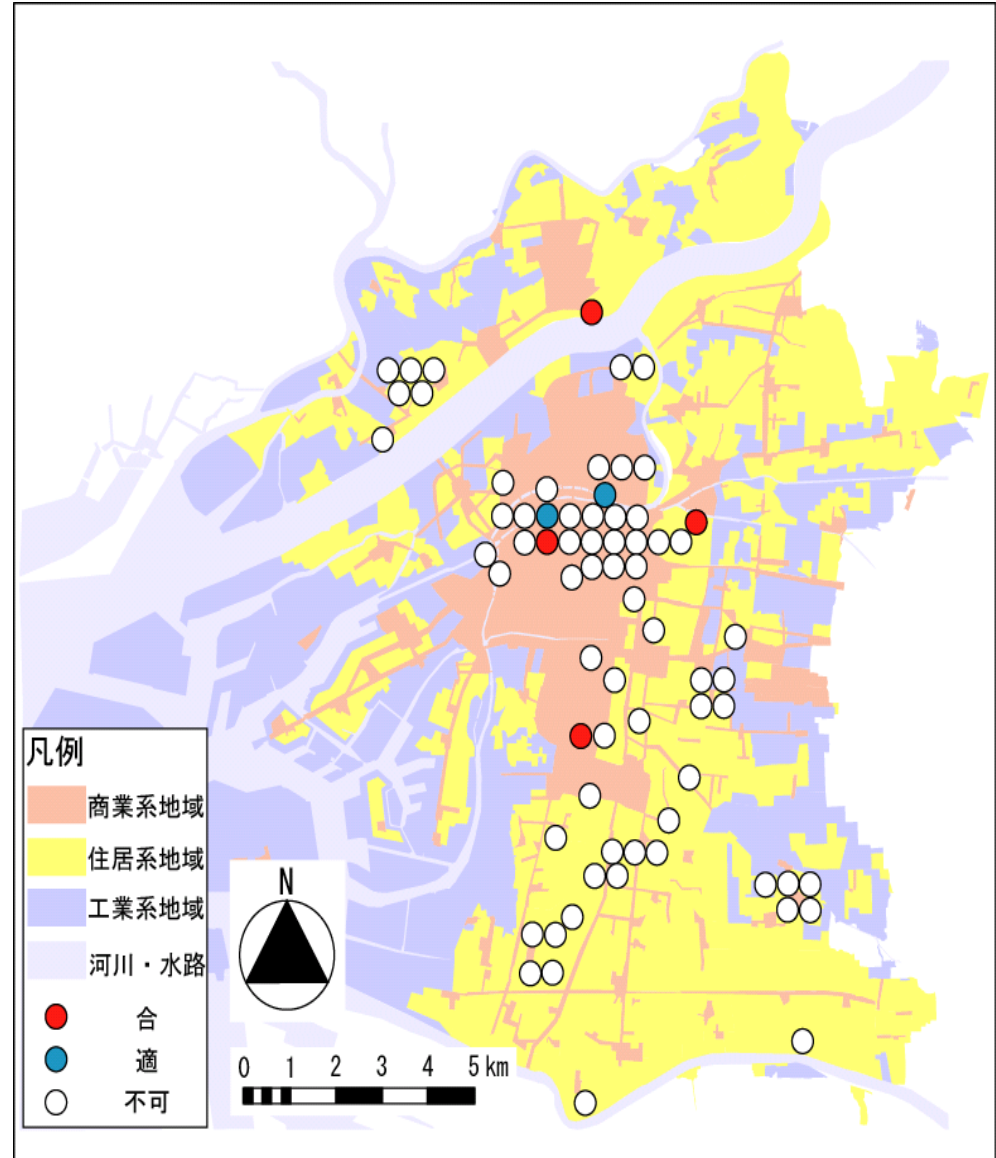
2物件

その他の物件



不可

64物件

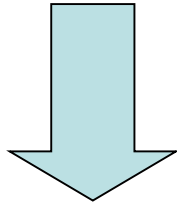


まとめ

ケース1 19物件


ケース2 6物件

ケース3 6物件



ケース1が現実的である

水道記念館(旧柴島浄水場送水ポンプ場)			
目立ち度	美しさ	緑景観との調和	まちなみ景観との調和
			

大阪ガスビルディング			
目立ち度	美しさ	緑景観との調和	まちなみ景観との調和
			

通天閣			
目立ち度	美しさ	緑景観との調和	まちなみ景観との調和
			